

会議録

| | |
|---|--|
| 会議の名称 | 平成30年度第2回西東京市防災会議 |
| 開催日時 | 平成31年2月7日（木）午後3時00分から午後3時40分まで |
| 開催場所 | 西東京市防災センター5階 災害対策本部室 |
| 出席者 | 丸山会長、杉山委員、藤原委員（代理：豊泉警備課長）、池澤委員、飯島委員、櫻井委員、坂本委員、松川委員、萩原委員、保谷委員（代理：飯島子育て支援部参与）、小関委員、萱野委員、湊委員、渡部委員、木村委員、山本委員、佐藤委員、高橋委員（代理：外山総務部長）、東谷委員、菊池委員、笹島委員、指田委員、伊集院委員、小松（哲）委員、井上委員、小松（美）委員、野田委員（代理：増野治療隊長）、榊原委員、村田委員（代理：池田事務局長） 事務局：藤澤危機管理特命主幹、小貫主査、宮前主任、小林（大）主事 欠席委員：坂口委員、山下委員、太田委員、浅野委員、岡部委員 |
| 議題 | (1) 西東京市地域防災計画（平成31年修正）の策定について (2) その他 |
| 会議資料の名称 | 資料1 西東京市地域防災計画（平成31年修正）の概要 資料2 西東京市地域防災計画新旧対照表（項目レベル） 資料3 西東京市地域防災計画策定経過 資料4 西東京市地域防災計画（平成31年修正）＜冊子＞ 資料5 平成30年度西東京市総合防災訓練実施報告 「住宅火災による死者が増加しています！」＜消防署提供資料＞ |
| 記録方法 | <input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録 |
| 会議内容 | |
| <p>○事務局 ただいまより平成30年度第2回西東京市防災会議を開催いたします。 西東京市防災会議会長の丸山市長より、ご挨拶申し上げます。</p> <p>○会長 《 挨拶 》</p> <p>○事務局 大変恐縮ですが、本日は時間の関係もございまして、お手元に配布の委員名簿及び本日の出席者名簿をもちまして、防災会議委員の皆様のご紹介に代えさせていただきたいと思っております。 それでは議事に入る前に、配布資料の確認をさせていただきます。</p> | |

《 配布資料確認 》

また、西東京消防署よりいただきました、住宅火災による死者の増加に関する資料を机上に配布させていただいております。

それでは本日の会議の進行でございますが、西東京市防災会議条例第3条により、以後の進行は会長である市長にお願いいたします。

○会長

西東京市市民参加条例第8条の規定により、会議は公開を原則としておりますので、傍聴される方がいらっしゃれば、これを認めることといたします。

傍聴される方は、いらっしゃいますか。

○事務局

いらっしゃいません。

○会長

それでは、次第に基づき進行させていただきます。

なお、西東京市市民参加条例第9条の規定により、会議録を作成し、公開することとしておりますので、委員の皆様にはご了承をお願い致します。

まず、議題1 西東京市地域防災計画（平成31年修正）の策定について、事務局よりお願いします。

○事務局

《資料1の説明》

西東京市地域防災計画の修正につきましては、昨年7月に開催いたしました平成30年度第1回西東京市防災会議におきまして、骨子（案）についてお示しをし、新たに修正して盛り込まれる予定の内容を含め、委員の皆様にご承認をいただきました。

本日は、パブリックコメントや委員の皆様からいただきましたご意見を踏まえた最終案を提示し、改めて説明させていただきます。

はじめに、1. 「修正の背景」でございますが、現行の地域防災計画につきましては、平成28年5月に修正を行っております。

その後、熊本地震や平成28年台風第10号、またその後の災害対応を踏まえ、平成29年4月及び平成30年6月に国の防災基本計画の修正が実施され、平成27年9月の関東・東北豪雨災害、平成28年の台風第10号での災害を踏まえ、平成29年1月に「避難勧告等に関するガイドライン」が改定されました。

東京都におきましては、平成30年1月に「東京都災害時受援応援計画」を策定しております。

また、本市における平成28年台風第9号への対応から課題が見えており、平成30年1月に東京都により土砂災害防止法に基づく土砂災害警戒区域の指定がされています。

以上の背景を受けまして、2. 「修正の方針」といたしまして、国や東京都など上位計画との整合性を図り、本市における災害対応に関する最近の取組みと課題を踏まえ、応急対応措置等の見直しを行なうとともに、土砂災害警戒区域の指定について、地域防災計画の風水害編に明記することとしております。

この方針を踏まえ、3. 「主な修正事項」の①「防災基本計画及び関連法令等の改正に伴う修正事項」では、「①応急的な住まいの確保や生活復興支援」について「住家被

害認定調査に関する体制の強化」のため、平成29年6月に、公益財団法人東京都不動産鑑定士協会と住家被害認定調査等に関する協定を締結し、調査・相談体制の強化を図っております。

続いて、「被災者生活再建支援システムの活用」といたしまして、平成29年11月に、り災証明書の円滑な交付の実施等を目的とした「被災者生活再建支援システム」を導入したことから、計画に反映します。

次に、「②避難勧告等の対象者の明確化、わかりやすい避難行動の伝達」について、平成28年台風第10号による水害では、岩手県岩泉町の高齢者施設において、避難準備情報の意味するところが伝わっておらず、適切な避難行動がとられませんでした。これを踏まえ、国において平成29年1月に「避難勧告等に関するガイドライン」が改定されたことから、避難情報の名称が、「避難指示」は「避難指示(緊急)」に、「避難勧告」は変わらず、「避難準備情報」は「避難準備・高齢者等避難開始」へ変更となったため、対象者と避難行動について、わかりやすく変更し、計画へ反映します。

なお、この変更につきましては、風水害編のほか、地震災害編における記述にも反映しております。

次に、「③気象庁による大雨警報等発表基準変更への対応」についてでございます。

気象庁では防災気象情報の改善に取り組んでおり、新たに短時間強雨による浸水害発生との相関が雨量よりも高い指数として、表面雨量指数を導入したことから、これを計画に反映いたします。

最後に、「④応急給水方法の見直し」についてでございます。

災害時避難者に対し即応的に飲料水を配布できるよう、平成29年度から新たに市立小・中学校に500m¹のペットボトル飲料水、約23,000本の備蓄が完了しましたことから、応急給水方法を見直し計画に反映いたします。

次に、**2**「平成28年台風第9号の災害教訓に基づく修正事項」について説明させていただきます。

まず、「①台風接近時等風水害編における市体制の見直し」についてでございます。気象庁における観測機器の精度が高まったことから、各種防災気象情報に留意し、市域への風雨等がピークを迎える以前に災害対策本部を設置し、態勢を整えるよう計画に反映します。

次に、「②避難勧告等避難情報伝達手段の充実」についてでございます。避難勧告発令判断基準のひとつに、「土砂災害警戒情報発表時」を用いていることから、市民にいち早く情報伝達できるよう、安全・安心いーなメールに配信情報を追加するとともに、運用やその他の情報伝達方法について検討し、計画に反映します。

次に「③風水害(土砂災害)に係る避難施設の見直し」についてでございます。

現行計画において、避難施設の運営等については「地震災害編」を準用しておりますが、避難勧告等において予測される避難規模や状況により、「地震災害編」に定める避難施設以外の公共施設等を避難先として指定できるよう、計画に反映します。

最後に、「④土砂災害危険箇所の監視警戒強化」についてでございます。土砂災害警戒メッシュ情報等、防災気象情報収集と連動して、土砂災害危険箇所の監視警戒を強化するとともに、土砂災害警戒情報が発表された場合、東京都と連携し現地の安全、具体的には石神井川沿岸の通路の通行止め措置等が確保できるよう調整し、計画に反映します。

次に、**3**「土砂災害警戒区域等の指定に伴う修正事項」についてでございます。

昨年1月に、東京都により該当地区の指定が行われたことから、計画に指定箇所を明記するとともに、西東京市に課せられる警戒避難体制の整備について、計画に反映いた

します。

最後に、**4**「その他の修正事項」についてでございます。

平成29年4月に市の組織改正が行われ、新たに建築指導課、住宅課が新設されたことに伴いまして、防災業務に係る事務分掌の見直しについて、所管と調整し計画に反映いたします。

《資料2の説明》

こちらの資料は計画書の項目レベルごとの新旧対照表です。
主な修正点につきましては網掛け表示となっております。

《資料3の説明》

こちらの資料は計画の策定経過です。

1. 会議開催関係で庁内及び防災会議の開催状況を記載しております。
2. 他機関協議・庁内調整関係では、庁内に修正素案を示したうえで、委員の皆様方や関係機関への意見照会をさせていただきました。
3. パブリックコメント関係では素案に対し、意見の募集を実施したところ、2名の方から15件のご意見を頂戴しました。寄せられたご意見の主な概要は裏面をご覧ください。内容といたしましては、既に実施中のものや国や東京都の上位計画との整合性を図りつつ、対応していくものが主となっております。

なお、今後のスケジュールといたしまして、3月より計画書の印刷製本を行い、東京都への報告及び公表をしたいと考えております。

後日お気づきの点などございましたら、2月末日までに事務局へご意見を頂戴できればと考えております。

○会長

ただいまの説明につきまして、ご意見・ご質問等ございましたらお願いいたします。

《 委員からの意見・質問等なし 》

○会長

本日、本会議の場で計画の内容を決定するにあたり、2月末日までに委員の方々から意見を頂戴した場合の取り扱いについてはどのように予定していますか。

○事務局

本日、地域防災計画修正案の内容につきまして仮の決定をいただき、後日頂戴したご意見につきましては、順次反映させていただいた上で、最終的な東京都への報告をさせていただきたいと考えております。

○会長

それでは、西東京市地域防災計画（平成31年修正）の策定について、案のとおり仮決定することで、ご異議ございませんでしょうか。

《 委員了承 》

それでは本件については、仮の決定を受けまして、災害対策基本法の規定に基づき、

西東京市地域防災計画の修正について東京都への報告手続きを取らせていただきます。ご意見等ございましたら、2月末日までに事務局へご連絡いただくようお願いいたします。

次に、議題2 その他について、事務局からお願いします。

○事務局

《資料5の説明》

平成30年度西東京市総合防災訓練の実施内容につきまして、ご報告させていただきます。

本訓練につきましては、メイン会場となりました「いこいの森公園」を中心に、谷戸小学校、特別養護老人ホーム「福寿園ひばりが丘」などで、本日もご出席いただいている各関係機関の皆様方をはじめ、44の企業・団体の方々のご協力を賜り、各種訓練を実施することができました。

当日は好天にも恵まれ、2,000名を超える関係機関の皆様、市民の皆様方にご参加いただきました。運営面等での反省点を踏まえ、委員の皆様方のご意見等を頂戴しながら、次年度以降の訓練がさらに有意義な訓練となるよう、努力してまいります。

ご協力を賜りました防災会議委員の皆様には改めて感謝申し上げますとともに、今後とも訓練へのご協力を賜りますよう、改めましてお願い申し上げます。

○会長

事務局として把握している、現時点での主な反省点はこういったものがありますか。

○事務局

今回の訓練では障害をお持ちの方にご参加いただきましたが、要配慮者への伝達手段について、訓練・実災害を問わず対応できるように努めていく必要があるという点を反省点のひとつとして認識しております。

○会長

要配慮者の災害時の対応等につきましては、個別具体的に決めていただかなくてはならない部分もあります。今後も反省点を活かして、災害時に適切な行動が取れるように訓練等を進めるようお願いいたします。

ただいまの説明につきまして、ご意見・ご質問等ございましたらお願いいたします。

《 委員からの意見・質問等なし 》

それでは次に、西東京消防署長より住宅火災による死者の増加に関して情報提供があるということです、説明をお願いいたします。

○西東京消防署長

- ・東京消防庁管内における住宅火災による死者の増加について
- ・西東京消防署管内における火災の現況について
- ・住宅用火災警報器の設置について

○会長

ありがとうございます。市内の火災につきましては西東京市消防団との連携もありますが、消防団長からは伝達事項等ございますか。

○西東京消防団長

市内12個分団それぞれが機械点検にあわせて、巡行防火パトロールと広報活動を実施し火災防止に努めております。

○会長

ありがとうございます。ただいまお話しいただいた出火原因等を未然に防止できるよう、地域での支えあいを積み重ね、防災会議委員の皆様にもお力添えをいただきながら、今後も火災防止に努めて参りますので、引き続きよろしく申し上げます。

その他、委員の皆様から伝達事項等ございましたらお願いいたします。

《 委員からの伝達事項等なし 》

以上をもちまして議事を終了させていただきます。スムーズな議事進行にご協力いただき、ありがとうございました。